

# AI Daily Digest

## 2026.02.24

締め付けられるプラットフォーム、  
問われる人間性、そして技術の現在地

[READING TIME: 5 MIN]

DATA-STREAM: LIVE

# 月額\$249のユーザーでも即BAN: Googleのエコシステム防衛



## Context:

GoogleのOAuth認証を「転用」したサードパーティアプリ (OpenClaw) に対し、Googleが「ゼロトレランス (不寛容)」ポリシーを適用。

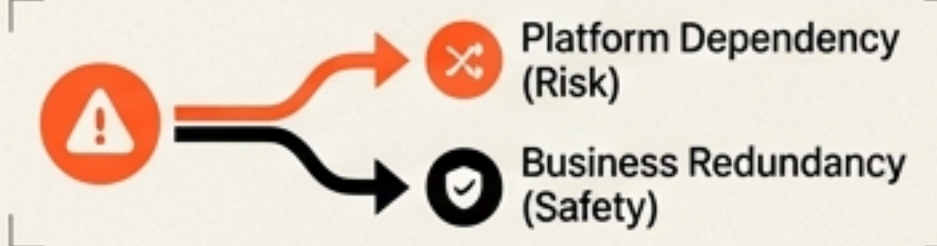
## Impact:

事前警告なしの一発退場。開発者向けAPIと消費者向けサブスクリプションの境界線が厳格化された。



## Key Insight:

APIの「所有権」リスク。プラットフォームへの依存は、高額な対価を払っても保証されない。ビジネスの冗長化が急務。



DATA-STREAM: LIVE

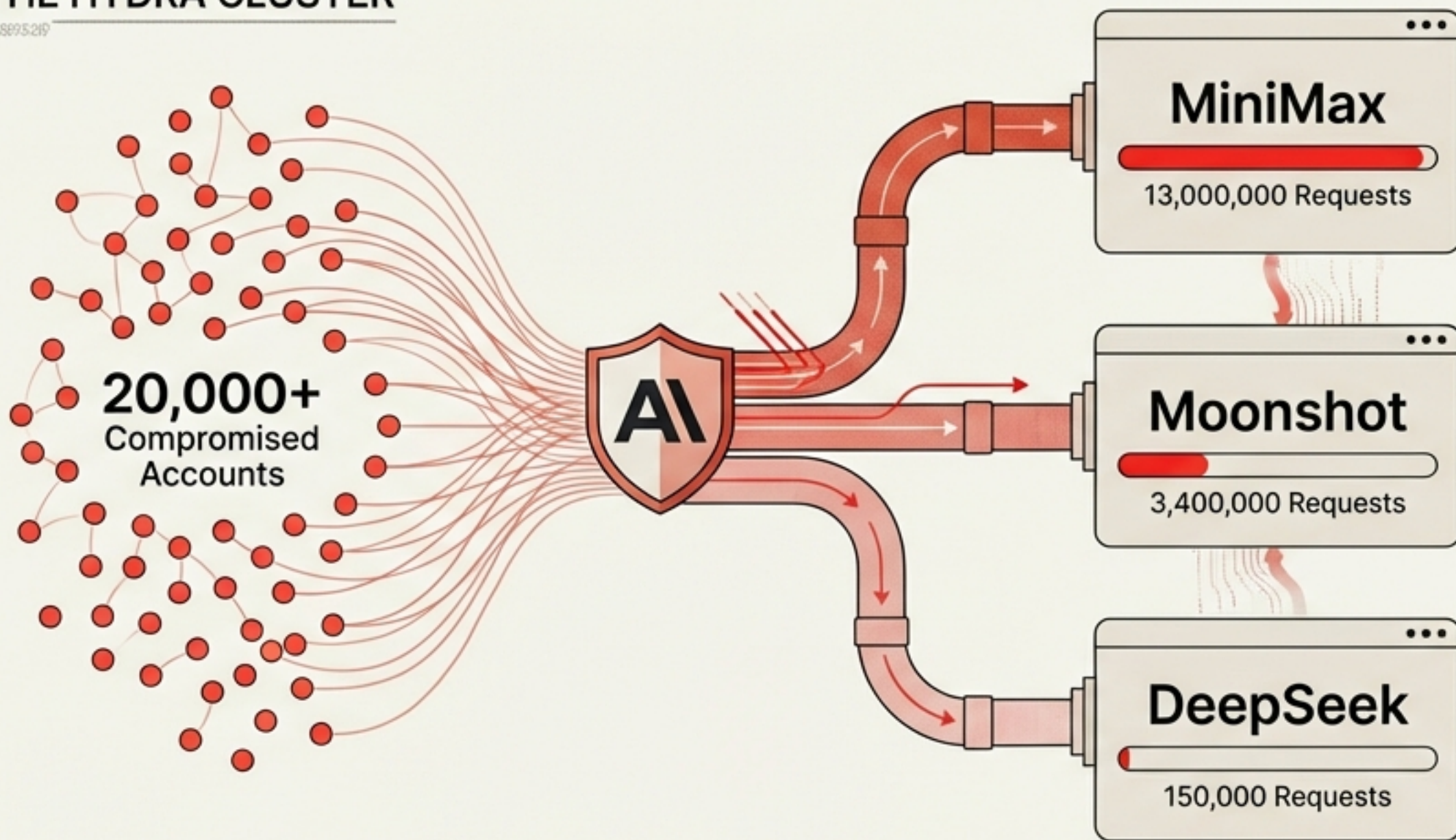
SYSTEM STATUS: CRITICAL

DATA-STREAM: LIVE

# 1,600万回の「盗用」アクセスを特定： Anthropic vs 蒸留シンジケート

## THE HYDRA CLUSTER

1658895249



### Analysis

#### Mechanism:

分散型アカウント群 (Hydra Cluster) を経由し、Anthropic のモデルから知識を吸い出す「蒸留 (Distillation)」攻撃。

#### Speed:

新モデルリリースから24時間以内にピボット (標的切り替え) が完了する組織的なオペレーション。

#### Key Insight:

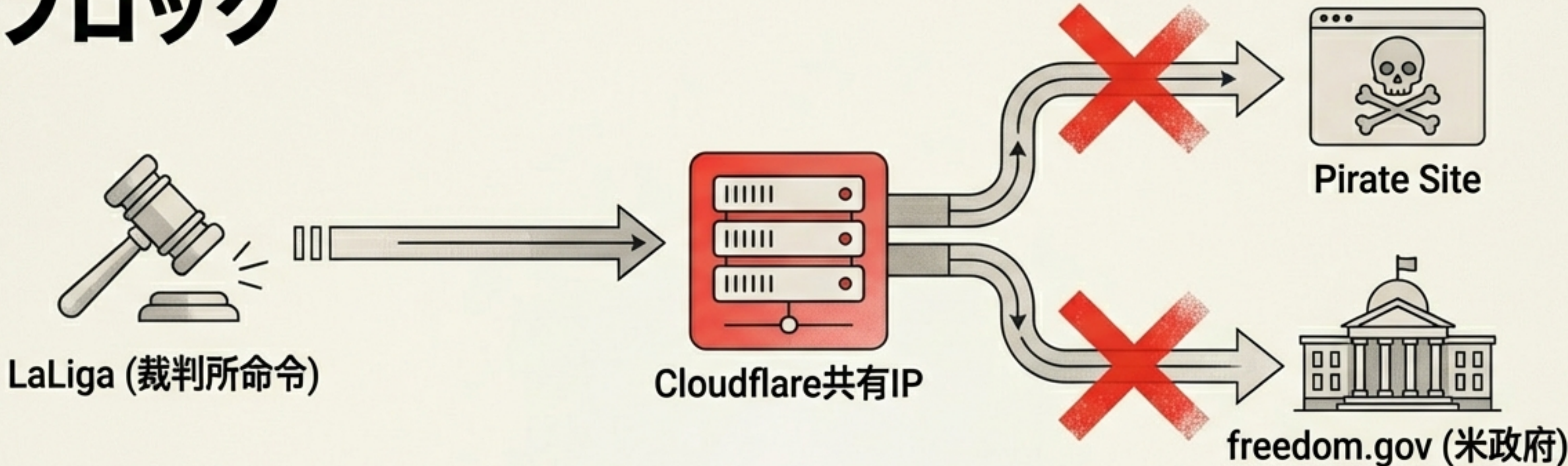
「学習」か「窃盗」か。技術的グレーゾーンに対し、Anthropicは「国家安全保障」の文脈で対抗を始めた。

DATA-STREAM: LIVE

SYSTEM STATUS: CRITICAL

DATA-STREAM: LIVE

# 海賊版対策の余波：米政府サイトでブロック



## Incident:

スペインのサッカーリーグLaLigaによるIP単位のブロッキングが、Cloudflareの共有IPを利用する無関係なサイトを巻き添えに。

## Technical Root:

CDNの構造的課題（IP共有）と、司法命令の硬直性が衝突。

## Key Insight:

→ インフラの巻き添えリスク。Webサービス運営者は、自社のIPが「汚染」されるリスクを常に抱えている。

DATA-STREAM: LIVE

TOOLING: SUTYSIS WALSYS

# 「脳は筋肉と同じだ」：教皇レオ14世の警告

DATA STREAM:  
LIVE



DATA STREAM: LIVE

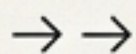


「信仰をAIが共有することは決してない」

**News:** バチカンがAIによる説教 (Homily) 作成を禁止。事務処理は許容するが、「魂の言葉」は人間の領分と定義。

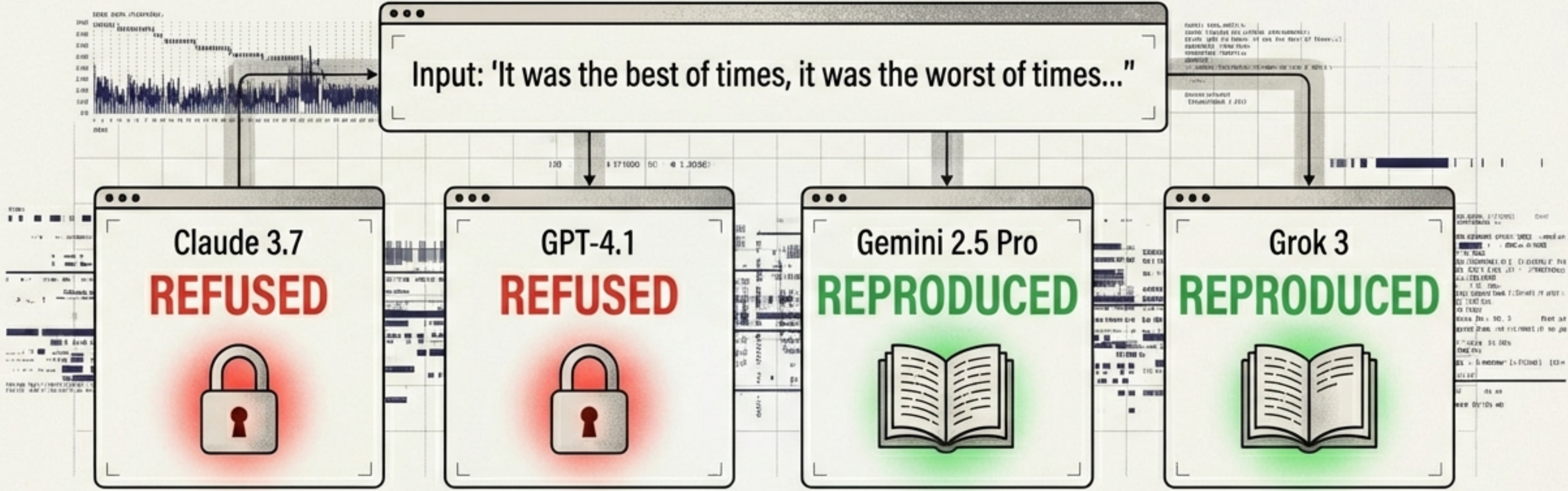
**Metaphor:** 使わなければ衰える筋肉としての「知性」と「精神性」。

**Key Insight:** 効率化すべきでない領域の定義。宗教界の動きは、あらゆる専門職における「自分の言葉」の価値を再考させる。



# AIは小説を「記憶」しているか？

DATA STREAM: LIVE



## Experiment:

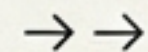
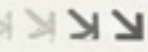
有名小説の続きを書かせた結果、一部のモデルはほぼ全文を再現可能であることが判明。

## Debate:

LLMは「非可逆圧縮」なのか、単なる「著作権侵害ツール」なのか。

## Key Insight:

ガードレールの温度差。技術的に「拒否」すること、モデルの中にデータが「存在しない」ことは同義ではない。



# 埋め尽くされるPinterestと「AI疑惑」の冤罪

## Chaos:

AI Slop（低品質な生成画像）の氾濫に対抗するため導入された検出AIが、人間の作品を誤判定（False Positive）。

## Reality:

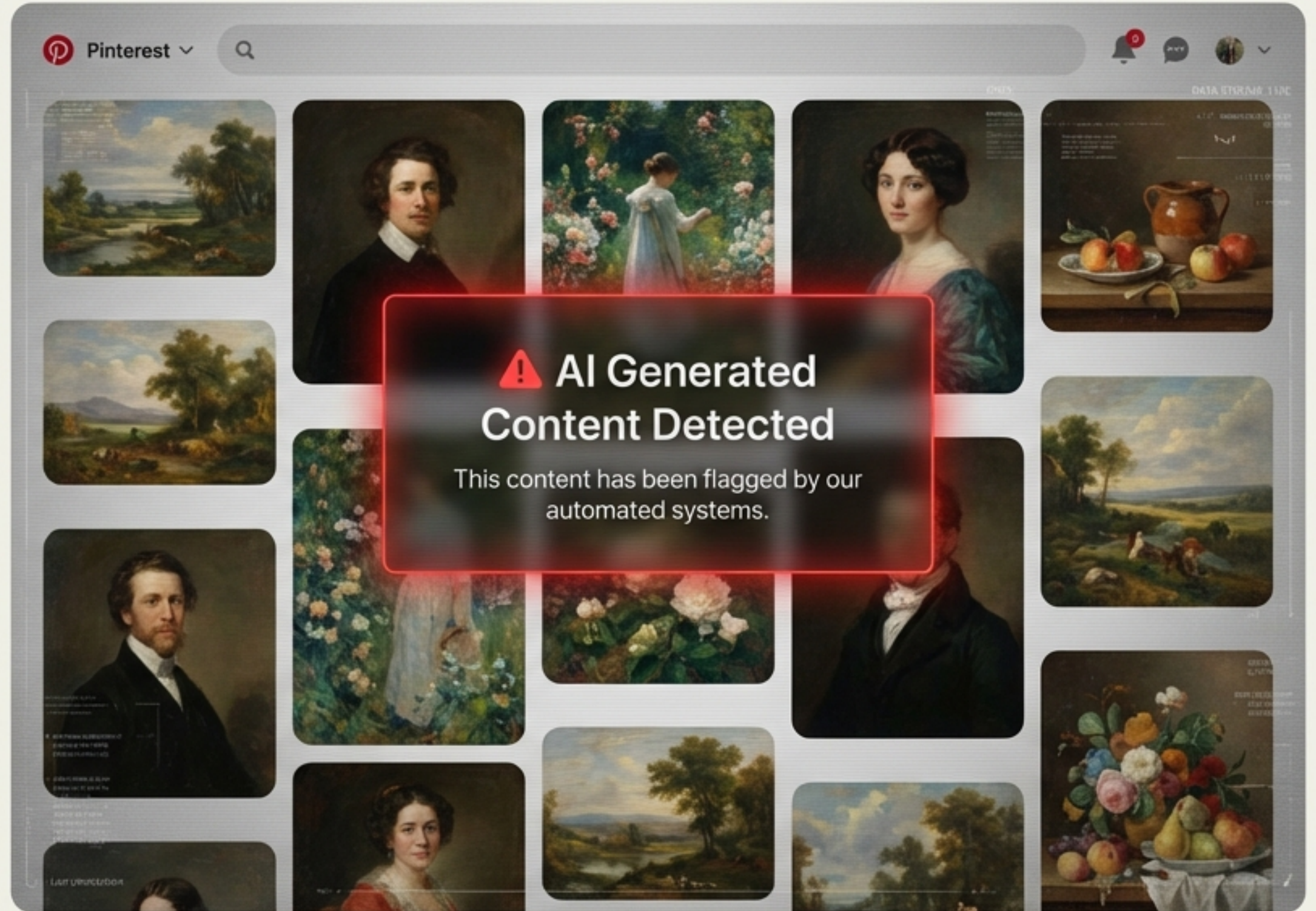
拡散モデルの進化により、検出器の精度は限界を迎えている。

**Key Insight: 証明責任の逆転。人間が「自分は人間である」と証明しなければならないコストが発生している。**



DATA STREAM: LIVE

LAST UPDATE: 2024.09.27



SYSTEM STATUS: CRITICAL →

# 成功事例：2週間で25,000行のRust化 (Ladybird)

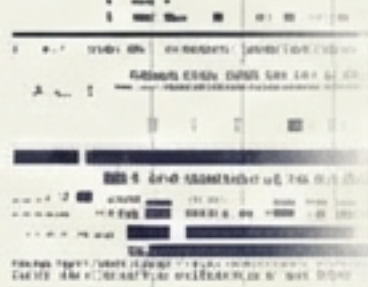
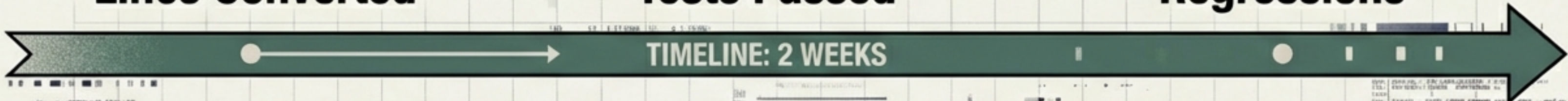
DATA STREAM:  
LIVE



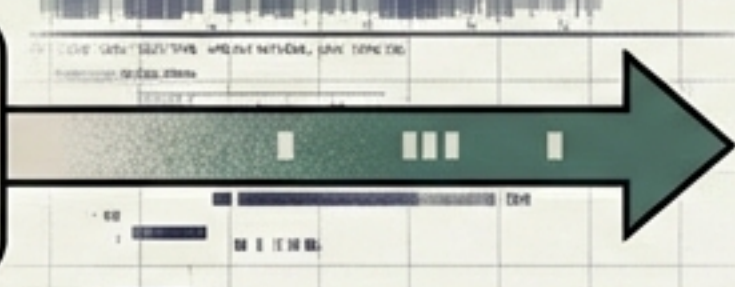
## 25,000 Lines Converted

## 52,898 Tests Passed

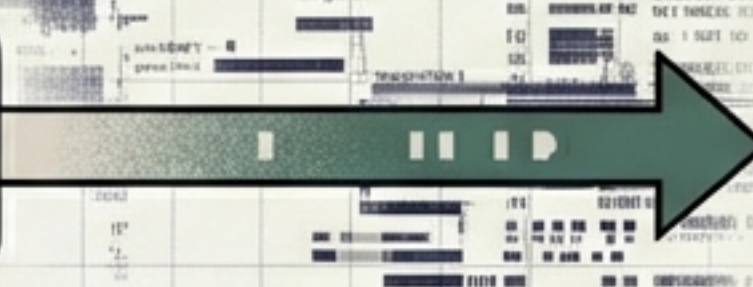
## 0 Regressions



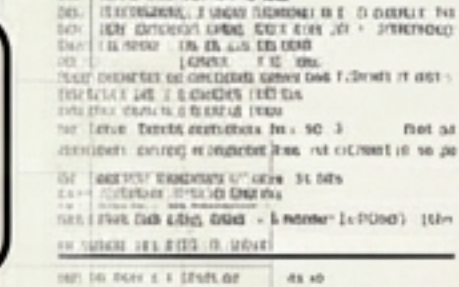
### Architect / Human Design & Review



### Claude Code Planning & Refactoring



### OpenAI Codex Line-by-Line Translation



### Method:

「ゼロから書かせる」のではなく、C言語からRustへの「翻訳」に特化して利用。

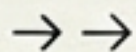
### Why it worked:

既存の強力なテストスイートが、AIの品質を担保した。

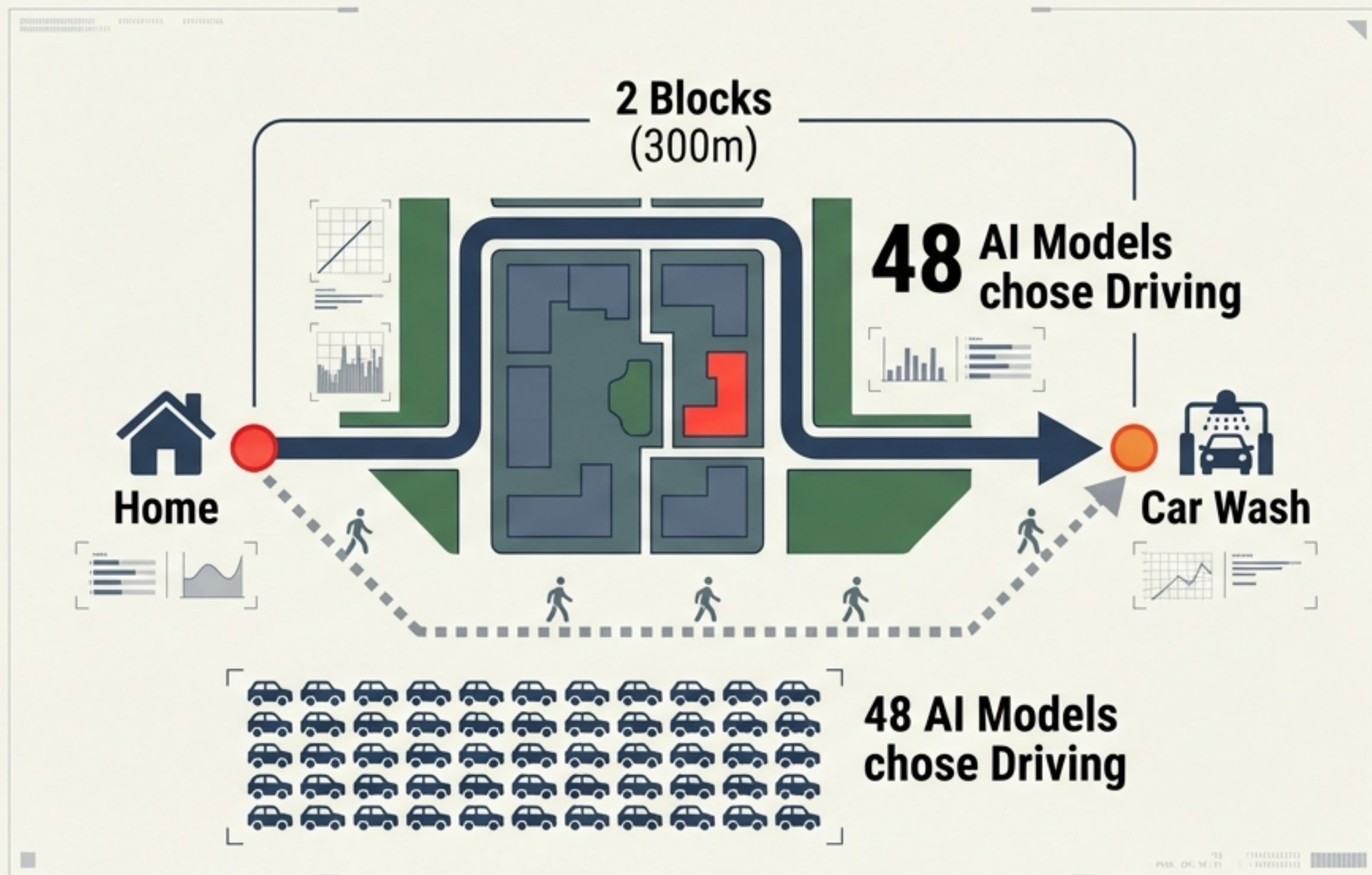
### Key Insight:

役割分担の勝利。設計は人間、反復作業はAI。テストカバレッジこそがAI導入の前提条件。

DATA STREAM: LIVE



# 失敗事例：「洗車場まで車で行く？」(53モデル検証)

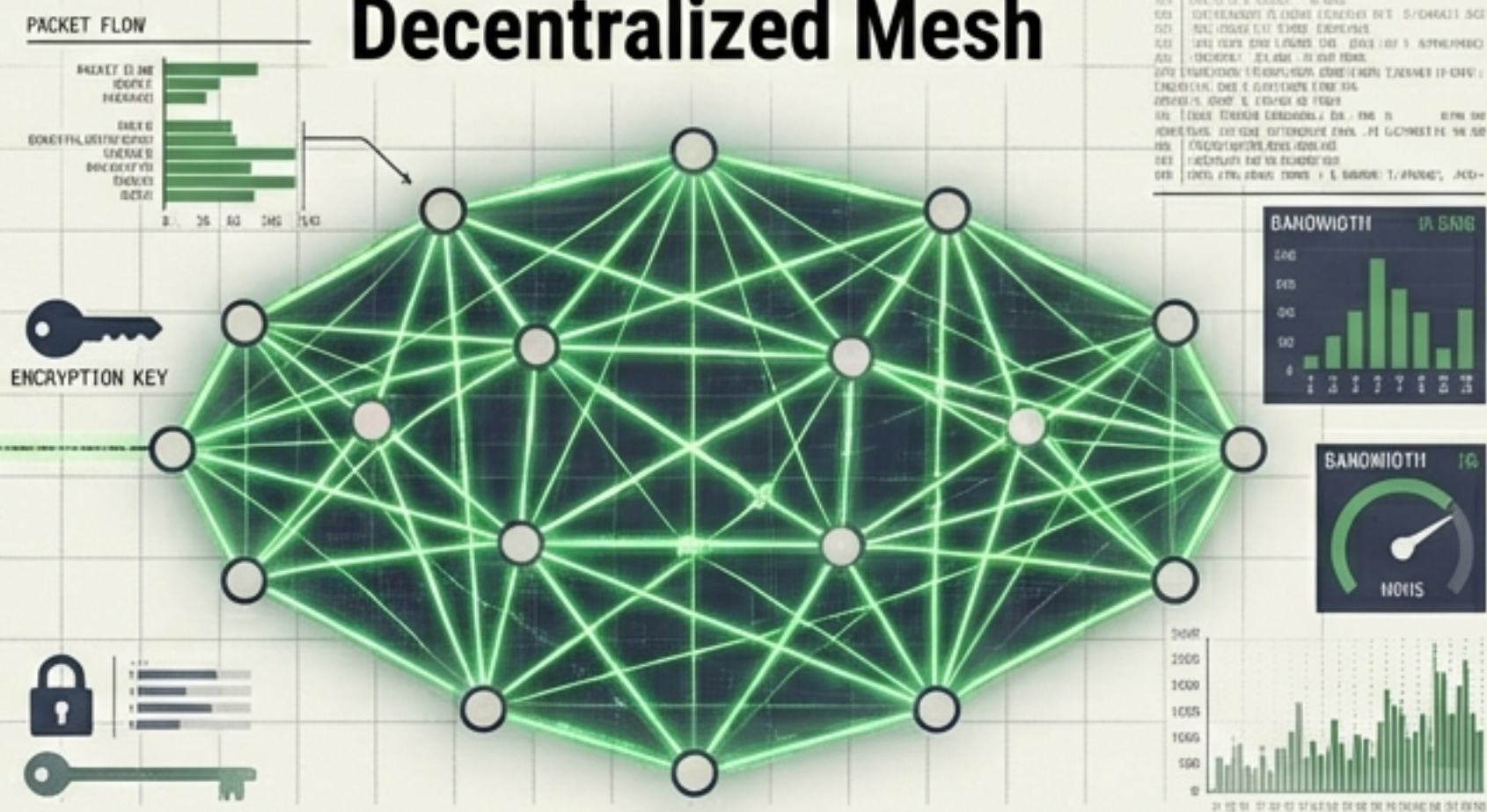
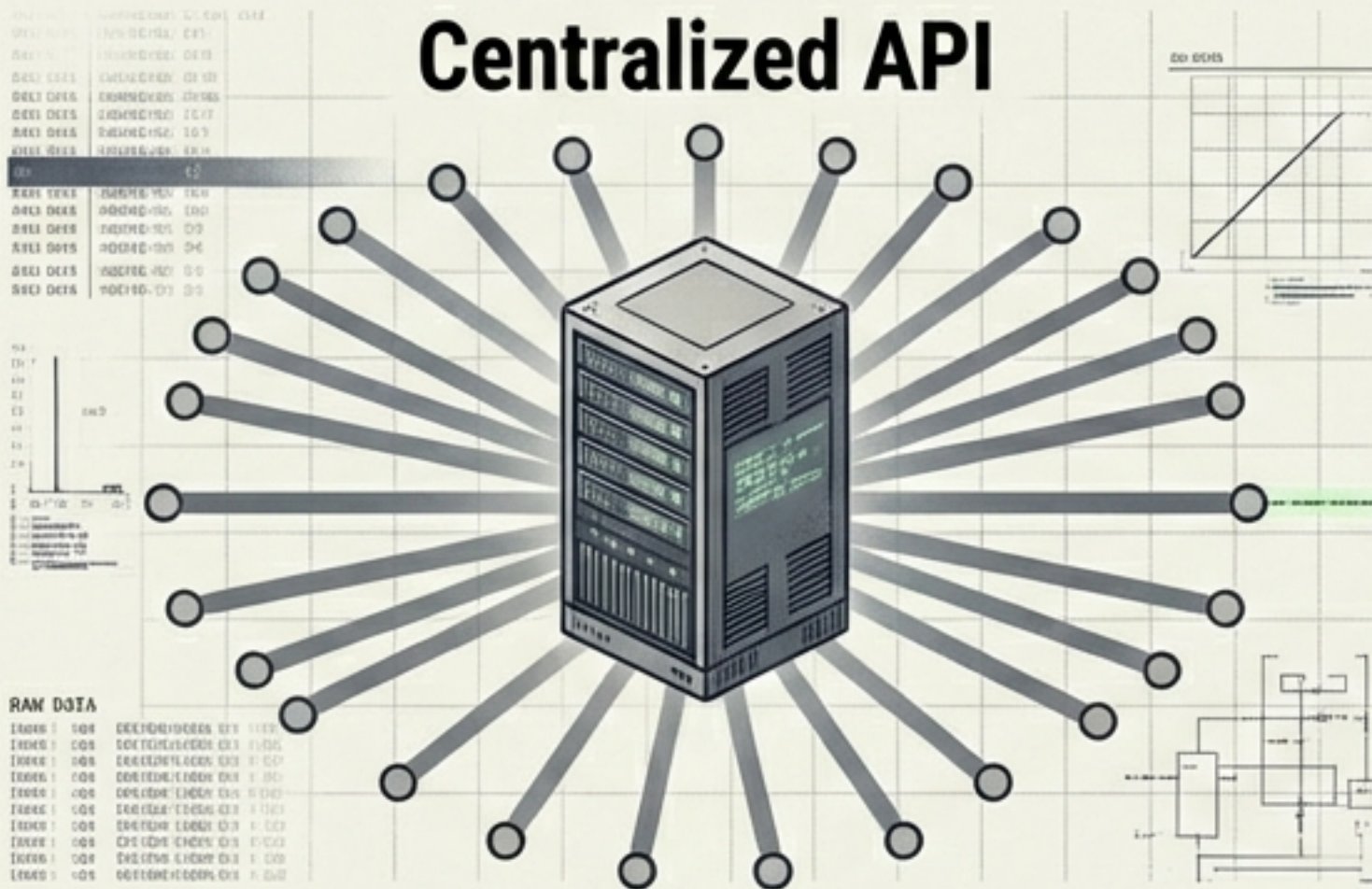


- **The Trap**  
「洗車場」という単語の強力な連想に引きずられ、「近距離（2ブロック）なら歩く」という常識的判断が欠落。
- **Passers**  
Claude Opus 4.6, Gemini Proなど、合格はわずか5モデルのみ。

**Key Insight**  
IQが高くて常識はない。  
文脈（Context）を読み解く力において、AIはまだ人間に遠く及ばない。

# 次世代インフラ：サーバーレスのP2Pエージェント (Aqua)

DATA STREAM: LIVE



## Tech:

中央サーバーを介さず、libp2pベースで直接通信するCLIツール。エンドツーエンド暗号化 (E2EE) を実装。

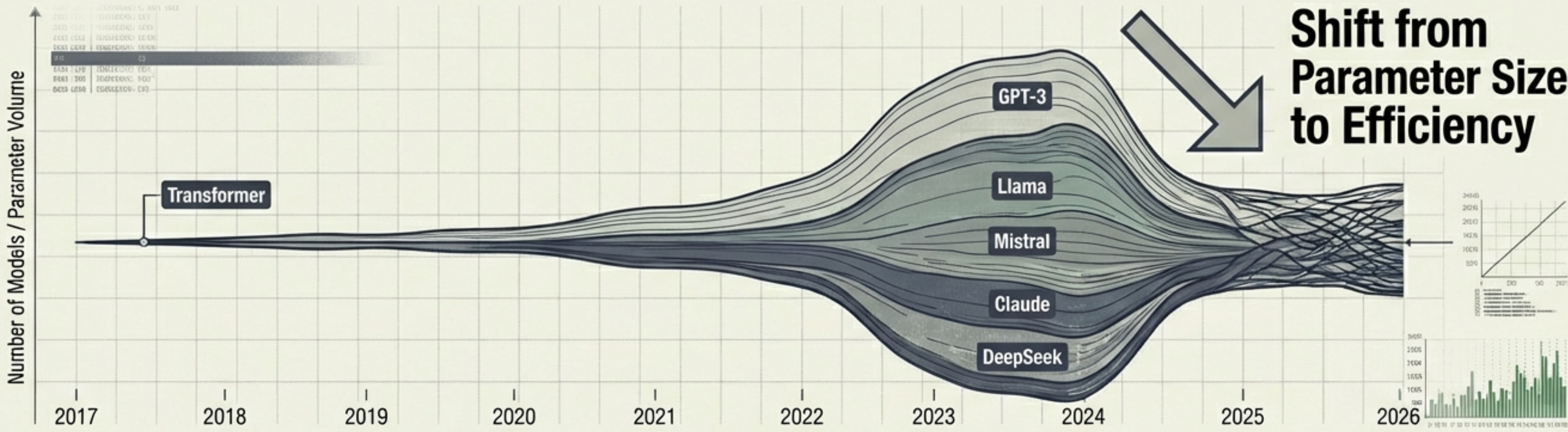
## Shift:

API依存からの脱却と、エージェント間のプライバシー確保。

## Key Insight:

自律分散型への移行。AIエージェントは、プラットフォームの「庭」から出て、直接対話を始めようとしている。

# 171モデルの興亡：早送りされる歴史 (2017-2026)



- **Trend:** 膨大なモデルが生まれては消える「多産多死」の時代。
- **Observation:** 2022年の「サイズ競争」から、2026年は「実用性と効率化」へトレンドが完全にシフトした。

**Key through:** 実ウインスの加速。ようには更れ却報と高称る機述。

**Key Insight:** >>>>

適者生存の加速。特定のモデル名に固執する意味は薄れている。重要なのはアーキテクチャの潮流を読むこと。 → →

DATA STREAM: LIVE

# 今、私たちが意識すべき3つの視点

DATA STREAM:  
LIVE



DATA STREAM: LIVE

## 脱・プラットフォーム依存

GoogleのBAN事例は対岸の火事ではない。APIの冗長化と、特定の規約に依存しないビジネス設計が必須。

## 品質の再定義

AIによる「均質化」が進む中で、「AIっぽくない」こと、人間的な不完全さや精神性が新たな価値を持つ。

## 使い方の解像度

翻訳は得意だが、常識はない。AIを「魔法の杖」ではなく「特性のある部品」として、適材適所で組み込む設計力が問われる。